

2009年 10月1 日発行

NPO法人 RGS協会発行 編集人 堀内孝之 〒146-0094 東京都大田区東矢口 2-18-17 ●TEL 03-3757-3389 ●FAX 03-5482-8827

シャンソンのすすめ 愛のシャンソン

松浦進一



▲松浦進一氏

近頃は本当にシャンソン教室がブームになったと感じる。日毎、夜毎、ドレスやスーツに身をつつみ、真摯な眼差しで人生を歌いかける人たちがたくさんいる。淡谷のり子の「人の気も知らないで」が日本ではじめて流行したのは昭和十三年のこと、昭和五年にフランスで作られたこの歌の一節を口ずさみながら銀座を歩いた当時の若者たちがいたことでしょう。それから八十年ちかく、シャンソンは戦後の復興とともに、新しい時代の先駆けとして日本中に広まり、この平成の御世になっても歌い

継がれています。

シャンソン、それは遠い国（フランス）、遠い昔の唄なのに半世紀以上の時を越えてなぜこんなにも愛され、続いているのでしょうか。

シャンソンはよく三分間の人生のドラマと言われます。下町に生きるありのままの庶民たちが主人公です。恋人への愛、青春の苦い思い出、子どもへの愛、年老いた夫婦の愛、亡き人への想い、およそ人生のあらゆる出来事を静かに見つめながら歌われています。

そしてシャンソンは魔法を持っています。人の心に感情の記憶を呼び起こす魔法、それは詩人たちによって選りすぐられた言葉、魂のこめられた言葉です。それではそんなシャンソンの一端に触れてみましょう。

フランス語は「愛をささやく言葉」と言われます。そしてシャンソンと言えば愛の歌。まず愛のシャンソンを紹介しようと考えているのですが、きっとRGSを読ま

ている多くの方は、今さら愛の話なんて……と敬遠されてしまうかもしれません。そう、青春が遠くなってどれほどの年月が経っているのでしょうか。でもまずは次の歌を、今のあなたならどうお感じになるでしょうか。

★

今宵、窓をたく秋の風は、

過ぎ去った昔の恋を、

消えゆるる灯火をを前に語る

……

今宵、震える胸のうちに、

遠い昔の日々を想う

私たちの恋の後には、

一体何が残っているというのか

あの素晴らしかった日々の何が残っているのか

古ぼけた一枚の真、とぎれた

愛の手紙、

春の夜の逢瀬、胸の中を駆け

まわる思い出

色褪せた幸せ、風になびく黒髪、

盗まれた唇 掴めない夢

そんな思い出に 一体何が

残っているのか

小さな村 古い鐘楼 ああ懐

かしい景色

雲に流れる ああ頃の影

あの頃の影

聳いた言葉、やさしい愛撫、森の奥の誓い

木の隙間に残した思い出の花
私を酔わす懐かしい香り

それらすべては
一体何処に消え去ったのか

シャルル・トレネ 一九四二
「残されし恋の後には」

いかがですか、最近では愛からすっかり遠ざかってしまった方々にも、その思い出は胸の中の片隅できつと光っているはずですよ。この詩を綴ったシャルル・トレネはスペインとの国境に近いピレネー山脈の麓、南仏ナルボンヌに生まれ育ち、その豊かな自然体験が愛を語る彼のシャンソンの背景を描いています。

子ども時代は誰もが多感で風の音に怯え、見知らぬ出会いを夢見て日々が夢と希望に満ちあふれていた。そんな眠りかけた感覚をシャンソンは刺激し、思い起こしてくれます。秋の公園で、風に包まれ、枯葉を踏みしめながら一節のシャンソンを口ずさんでみませんか。
例えばこんな詩、

★
どうか思い出して欲しい
二人が愛し合っていた 幸せ

だったあの頃を

あの頃、人生はこよなく美しく
太陽は今よりも もっと輝いて
いた

今、街は枯葉の季節
舞い降りては 掃き清められ
てゆく

あの枯葉のように

この想い出も、この後悔も

やがて北風が 忘却の冷たい

夜の彼方へと

運び去ってゆくことだろう

私は忘れない あなたが唄っ

ていたあの唄

それは私たち二人にも似た

あの唄

私を愛してくれた あなた

あなたを愛していた わたし

けれど時は音も立てずに

愛し合う者たちを引き離す

砂浜に刻まれた

恋人たちの結ばれ足跡さえ

波が消し去ってしまう

ジャック・プレベール「枯葉」

その美しいメロディーとともに紹介できないのが残念ですが、詩人が一つの歌の中に込めた想いは年月を経ても色褪せること無く、大きな力を持っている感、それは私たちの忘れかけている感

覚を見事に引き出してくれます。

それこそが無機質な毎日の生活に、時の流れに大きな潤いを与えてくれます。どうです、少しはシャンソンを口ずさむ気になり

そうですか？ さあ、シャンソンを歌いましょう。

● 語るように歌う

シャンソンを歌うことはとても簡単です。お話をするように

誰でも歌えます。

● まず声を出すこと（発声）

声を出すことは心地よいことです。発声をする、それだけで

華やいだ気分になれます。呼吸をコントロールし息を出すだけで

気持ちが上がります。

● 何より大切なのは温かい気持ちで歌う（創唱）

シャンソンで一番大事なことは、歌に命を吹き込むこと、つまりそれぞれの心をこめることです。先に述べたりシャンソンにはおおよそ様々な人生模様が描かれています。その中には自分を慰め、癒し、勇気を与えてくれる素敵な歌との出会いがあります。

● 歌を介して仲間とつながる（理

解しあう）

そんな歌に出会った時、自らの

人生に合わせて人前で歌ってみた

時、聴く人と仲間とともに気持ち分分かち合えた時、人は初めて自身の中に確かな満たされた気持ちを知ることが出来ます。フル

ネームで人前に立つこと、みんなの視線を浴びること、そうした仲間と語り合い理解し合うこと、それらすべてがこれからも人生の大きな楽しみとなっていきます。

今の時代、生活は均一化し、便利な物も情報もあふれ、人の価値観さえ比較検討され、時に流されていきます。そんな中で目に映るものは衣食住も音楽も映像も、より刺激的なものばかりです。けれど、生きてゆく上で人と人との温かい心の触れ合い以上に大切なものはありません。

さあ、シャンソンを歌って気持ちの中に温かい人の温もりをたくさん取り戻しましょう。もちろん上手でなくてかまいません。やさしく語りかけることです。

けれど最初に断っておきます。シャンソンは何年極めても偉くはなりません。けれど毎日気持ちは明るくなりますよ。シャンソン、それは人の魂が刻んできた心の記憶だからです。

（筆者は元「銀バリ」マネージャー）

イヴ・モンタン 民衆が待ち望んだスター



抱いてバリにのぼる。そして運命的出逢いをする。

ピアフはムーランルージュの前座を探していた。そこにルイ・バリエの紹介でモンタンがオーディションに現れる。ピアフは無名の彼の才能を見抜く。「彼こそシャンソンに革命を起こす期待される新人よ」。ピアフは仕掛ける。「手を見せて、これは工場に出入り

モンタン(本名イヴォ・リビイ)はイタリアのフィレンツェ近郊の田舎町に一九二一年に生まれた。二歳の時、ファシズムの荒れ狂う故郷を捨て、一家はアルプスを越えて仏国マルセイユに移住する。暮らしては貧しく少年の頃から荷役夫や給仕をして働いた。それでも腕白な彼は何時までも外で遊び、母親が「イヴォ! モンター!」(イヴォ早くお上がり!)と呼び戻す、後年それが芸名イヴ・モンタンになる。

そんな彼も歌手に憧れ、トレネなどを歌って街のど自慢に登場した。やがてミュージックホール「アルカザール」に出演するようにまでなる。戦中は造船所に徴用され、朝から晩まで金槌を手に働く。ここで職人たちの人情や友愛を知る。その後港湾労働者しながらも歌い続け、夢を

した男の手、波止場人足の手、肉刺(まめ)でいっぱいだわ、それを忘れさせるべきじゃない、貴方の手は民衆から生まれたのよ、そのことを人々に教えてやらなくちゃ、貴方には愛を歌って欲しい、月に向かって泣いているようなピエロ男の歌ではなく、本物の男が愛を叫ぶ、大衆はそんな男を待っているのよ!

それまでカウボーイ姿でアメリカの歌を歌っていたモンタンに、黒い開襟シャツとズボンを着させ民衆の歌を歌わせた。それは大きな驚きと歓迎をもって迎えられた。それまでの男性スターは華奢て花を挿し、白塗りて歌う中性的な歌手が多かった。そこに現れたモンタンはごわごわの黒髪、節くれ立った指、逞しい肉體、それはまさに労働者の中から生まれたスターの姿だった。

シャンソン 名訳・迷訳

シャンソンには名訳が多く、直訳と異なっていることが多い。この歌もムッシュ矢田部により紹介され、金子由香利によって有名になった。しかし奥さんは再会の現場には同伴はしていない。みなさんの訳を募りま

JE N'POURRAI JAMAIS T'OUBLIER

Tiens, bonjour, comment vas-tu? dis moi
Dis, te souviens-tu encore de moi?
Moi, il m'arrive souvent de penser à toi
Mais à part ça, comment ça, va?
Toi, vraiment tu n'as pas trop changé
Moi, tu sais j'ai beaucoup voyagé
Oui, en effet j'ai découvert d'autre pays
Et toi, qu'as-tu fait de ta vie?
Je parle trop, tu es pressé
Je ne voudrais pas te déranger
Si j'en dis trop c'est pour t'aider
À retrouver le temps passé

Est-il vrai qu'elle me ressemble un peu?
On dit qu'elle a aussi les yeux bleus
Et-tu certain d'être plus heureux maintenant?
Moi, je t'aime, je t'aime toujours autant
C'est la vie on n'y peut rien changer
Nous sommes aujourd'hui deux étrangers
Je vois très bien dans tes yeux qu'il ne reste rien
De notre amour que tu es loin
Je parle trop, tu es pressé, je sais
Je ne veux plus te retarder
Encore un mot et je m'en vais, tu sais
Je ne pourrai jamais t'oublier
Encore un mot et je m'en vais, tu sais
Je ne pourrai jamais t'oublier

決してあなたを忘れない

あら、今日は、ご機嫌は?
まだ私のこと思い出して?
私はしょっちゅうあなたのこと考えるわ
それはそれとして、どうなの?
あなたはちっとも変わらない
私はずいぶん旅をして
いろんな国を見てきたわ
あなたはどう暮らしてるの?
私おしゃべりね、あなたは急いでる
あなたの邪魔はしたくないけれど
私がしゃべるのはあなたに
昔を思い出してほしいからよ

彼女、私に似ているんですけどって
彼女の眼も青いんでしょう?
本当に今の方がしがあわせ?
人生はやり直しがきかないから
今日の二人は他人同士ね
あなたの眼には何も残っていないわ
二人の恋はなくなったわね
私はしゃべり、あなたは急いでる
もうあなたを引きとめないわ
もう一言だけで私は立ち去るのよ
決してあなたを忘れないわ
もう一言だけで私は立ち去るのよ
決してあなたを忘れないわ

●シャンソンの流れる店

レスプリ・フランス



湘南の鶴沼海岸にあるフランスレストラン「レスプリ・フランス」は、文化サロンのひとつとして地域文化の向上に貢献しているが、同時に一流のミュージシャンを招き演奏会を開催することでも有名である。

料理は、シェフの渡辺みきさんが腕をふるうが、彼女は慶應義塾大学よりフランスのグルノーブル大学に留学し、山本順知氏、ダニエル・マルタン氏に師事、さらに、東フランスのヴァランスにある四つ星ホテル「Maison Pic」のレストランで修行したベテランである。

店のオーナーの田中節子さんは、音大出で、三菱商事勤務のご主人を支える生活を経てこのレストランを作り、現在はシャンソン講座を聞き、歌手としても活躍し、時には、来店された客の歌に合わせてピアノも弾いてくれることもある。また、老人ホームでのボランティア活動に参加する日々をも送っている。

店は、火曜から土曜日までのレストラン業務のほか、レンタルホールとして種々の発表会、同窓会、結婚式の二

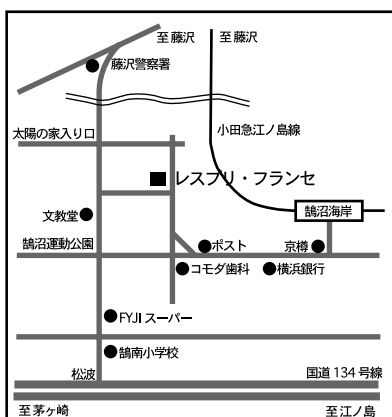


次会などにも利用できる。店内には、二つの部屋があり、グランドピアノとアップライトピアノが置かれ、しゃれた雰囲気と美味の店として評判で、遠方からわざわざ足を運ぶ人も多い。

外観は真で見るように、フランスレストランとしての風格を備え、店内の雰囲気の良いもさることながら、庭の池に泳ぐ鯉も客の目を楽しませてくれる。

先日、この店で開催された星野和正、高橋栄子さんの主催するレ・クロシュの公演も盛況で、店の雰囲気とも解け合い、来場者からも大好評を得られ、再度の公演を期待する声が多く、関係者を喜ばせている。

- ★ レスプリ・フランス
- ★ 藤沢市鶴沼海岸七十七十一
- ★ 電話 0466-34-3299



CHANSON RGSシャンソン研究会発行

発売中 日本生まれのシャンソン I
CD・カラオケ付き 価2000円



●第2回日本生まれのシャンソンを歌う会は平成23年3月13日レスプリ・フランスにて開催